

運動保安闘争から闘いの前進を！

87年度新役員体制を確認し、第12回定期大会終了す



87. 10. 20
No. 2682

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二五三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国鉄千葉動力車労働組合

第12回定期大会 第2日目

スト体制をひたすら 鉄道労働連合体「四・一」体制 粉砕へ立ち向かおう！

すべての組合員のみなさん！ 動労千葉第十二回定期大会での闘う方針の圧倒的確立を軸に、十一月強制出向攻撃を粉砕し、年末から来年へかけて大胆に進撃しようではありませんか。原職奪還、強制出向粉砕、運動保安確立の三大方針をきかかけ、その中で事業部運動を拡大し、動労千葉の前進をかちとろう。

運動保安問題などで討論白熱

大会二日目は、初日の最後に駆け付けられた清井弁護士、動労西日本・井面委員長に続き、葉山弁護士、動労連帯高崎・和田山委員長の連帯の挨拶で始まり、再び熱烈な討論が行われた。

◎今年の大会をやっていること事体勝利だ。千葉転からDLの訓練に来るが対応は。「六三・三」の貨物合理化についての内容は。（佐倉）

◎通過が多くなったが、これは、当局による区間時分の短縮、ブレーキ区間の詰めが原因だ。また車両故障も多い。検・修分科とタイアップして当局を追及する。（乗務員）

◎故障が多いのも台検廃止によりモーター内部が清掃できないからだ。何度おきたかわからない。（検・修）

◎「四・一」以降、小さなことで差別してくる。乗務員の技能競技会について検修でも競技会が行われようとしている。どこかで歯止めをかけるなければならない。一定の方向性を。（木更津）

◎解雇者の決意に迎え闘いを受け継ぐ。今天皇を前面に出して戦争国家化が進んでいる。青年部は皇太子訪沖反対に決起し、新たな運動を創り出す。（勝浦）

◎佐倉の臨時列車の扱いで千葉転内ではどの位話しが進んでいるのか。（佐倉）

◎事業部運動を解雇者の最先頭で闘う。「いすみ鉄道」発足に伴う出向問題はどうか。（勝浦）

◎七月十六日に貨車解体に配転された。貨車解体はまったく不当なものだ。まさに「四・一」で動労千葉、国労を解体できなかったことに対する新たな解体攻撃であり、敵の狙いが破産した証だ。動労千葉の誇りにかけ攻撃を粉砕して闘いぬく。（事務）

動労千葉をあげて取り組む。「六三・三」についてはまだきていない。近く提案されるだろう。また「いすみ鉄道」をめぐる出向問題がくることは必至だ。体制を固め立ち向かう。冬期物販、カナメ商事のイベントを大成功させよう」と具体的に答弁を行った。

仲間と職場を守るため 全員火の玉となって闘おう

さらに、中野委員長より「大会終了後、再度闘いに挑むことを確認したと確信する。『四・一』体制の中で、安全問題を反合・運動保安確立の立場で直視し闘う。動労千葉は、運動保安で始まり運動保安に戻る。この中に、職場の運動を活性化させるカギがある。また、二八名の解雇撤回、清算事業団十二名の原職復帰、営業配転者の奪還、強制出向を阻止するため、仲間を守り、組織を守り、ストも辞さず闘うことを確認した。そして、三〇名解雇者を先頭に財政基盤の確立を決定した。そのためには組合員全体が火の玉となり決起することだ。調査なくして要求なし、要求なくして闘いもない。全体で闘いぬこう。当面、十一月三日の団結祭典を大成功させよう」と総括答弁が行われ、全体で闘いぬくことを拍手で確認した。

二本の決議、大会宣言を確認し 闘う新執行部を選出

経過報告及び八七年度予算案、八七年度方針案の承認が一括して行われ、全体の圧倒的拍手で承認され、さらに、佐藤代議員（幕張）より「強制出向阻止！ 『六三・三』合理化粉砕！ 鉄道労働連革マル解体へむけた決議」、永島代議員（幕張）より「皇太子の沖繩訪問反対！ 天皇の戦争責任を許さず沖繩県民と連帯して闘う決議」の二本の決議が提案され、拍手で確認された。（裏へつづく）

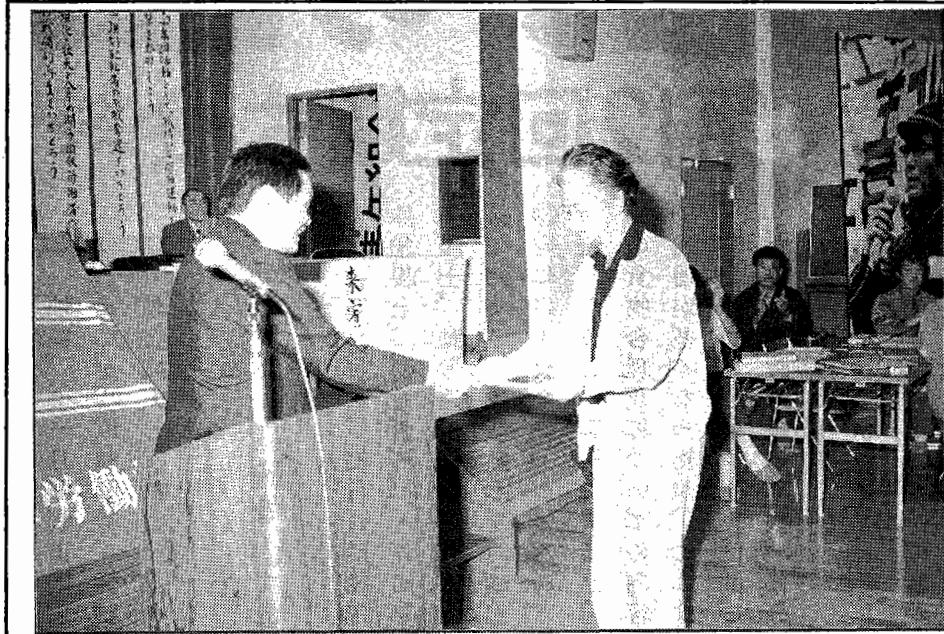
また、新役員を選出については、定数通りであったため信任投票を行い、八七年度の新役員を決定した。(別掲)

大会宣言発表(川崎特執)、議長団解任挨拶、閉会のことば(新藤特執)と行われ、動労千葉第十二回定期大会は圧倒的な成功をもちとり、二日間の幕を閉じた。大会の成功をひっさげ、さらに前進しよう!

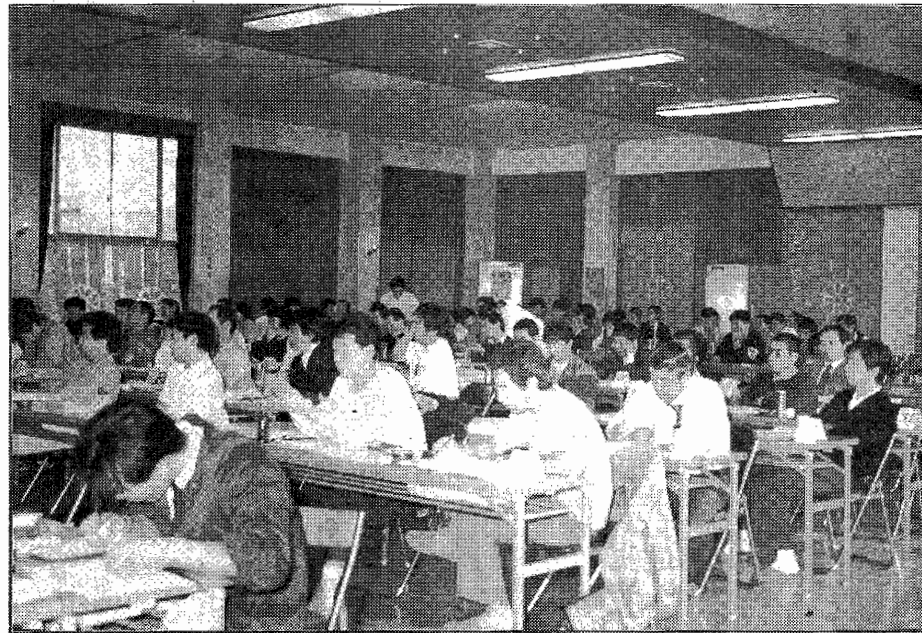
四名の方々を組合表彰

動労千葉は、大会第一日目の午後、映画「俺たちは鉄路に生きる」を製作され、動労千葉の闘いに大きな業績を残された宮島義勇監督に対して、その功績を称えて記念品を贈った。

さらに、本年三月三十一日付をもって動労千葉を退職された能瀬綾子さん、笹本裕子さん、山田義種さんの三名の書記の方々に対し長年にわたる数々の功績を称え記念品を贈り感謝の意を表した。



中野委員長よりこの間の業績を称えて宮島監督に感謝状と記念品が送られた。(10月16日、大会第1日目)



スト体制擁護へ全代議員、傍聴者が白熱した討論をくり広げた。

八七年度新役員体制		役職	氏名	年齢	所属
執行委員長	中野洋	47	千葉転		
執行副委員長	水野正美	50	勝浦		
書記長	山口敏雄	50	千葉転		
書記	布施宇一	45	"		
執行委員	桜沢明美	41	"		
"	内山等	41	"		
"	白井敏行	43	"		
"	田中康宏	32	津田沼		
"	新藤雄一	30	幕張		
"	関豊	49	新小岩		
"	滝口誠	43	幕張		
"	塩崎昭広	41	館山		
"	錦織芳雄	40	銚子		
"	林熊吉	52	幕張		
"	佐藤博	37	"		
特執(青年部長)	杉本則夫	29	勝浦		
会計監査	関弘明	49	木更津		
"	石幡佳和	34	幕張		
"	村田茂雄	28	佐倉		